

成蹊会誌 56

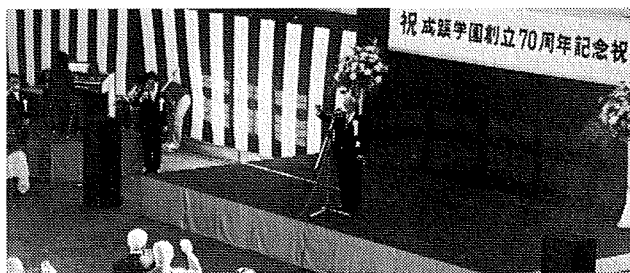
1982年12月



成蹊学園創立七十周年



古賀理事長の式辞



祝賀会

◇成蹊学園創立七十周年記念式典挙行

学園が創立されて、本年は七十周年になります。これを記念して去る十月十六日(土)秋晴れの下、大学体育館において記念式典が行われました。記念式典は、中村、岩崎、今村のご三家の方々をはじめ、学外からは学習院、甲南、成城、武蔵各学園関係者および武蔵野市その他地元官公庁の関係者をお招きし、また学園の旧、現法人役員、旧教職員、卒業生代表の方々が参列され、教職員、学生・生徒、児童代表をあわせ約六百五十名が出席して行われました。

開会前、式場には成蹊大学管弦楽団の演奏する曲——タンホイザー序曲——がいっぱいに流れ、十二時三十分の開会、国歌斉唱ののち新井専務理事より学園の沿革報告、古賀理事長の式辞、続いて磯部学習院長、丹治成蹊会長および在校生父母代表石川六郎氏より祝辞を頂き、終りに参列者一同校歌を唱和して、簡素ながらも七十年の重みを感じさせる厳肅な記念式典を滞りなく終了いたしました。

記念式典終了後、祝賀会が和やかに開かれました。祝賀会では、進藤甲南学園理事長および藤元武蔵野市長よりそれぞれ祝辞を頂き、続いて小笠原評議員会議長のご発声で乾杯が行われ、参会者一同心から成蹊学園の七十周年を祝いました。

◇施設建設募金の状況

- 一、入金額 九億五百六拾万円(昭和五十七年十一月末現在)
- 〔内訳〕同窓会員 一、二五五件 三千二百拾万円
- 在校生父兄 三、七二一件 三億八千三百万円
- 法人 二、三九件 四億七千三百拾万円
- 学園教職員 四六八件 一千九百二拾万円
- 二、募金目標額 拾億円
- 三、募金期間 昭和五十八年九月まで
- 四、建設計画所要資金 総額二拾七億一千万円

◇同窓会員の皆様へのお願い

募金の方法は、すでにお知らせいたしましたように一口一万円で一口以上お願いいたしております。募集期間内に募金の目標額が達成でき、施設建設事業がすべて実現できますよう是非とも皆様からのご芳志を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

お申込みは、左記宛ご連絡いただければ申込書、振込用紙等をお送り申し上げます。

武蔵野市吉祥寺北町三ノ三ノ一(千一八〇)

学校法人 成蹊学園 経理部出納課

(電)〇四三二五一一五二八一(内線三三四)

◇中学・高等学校特別教室棟の竣工

昨年(昭和五十六年)十一月二十五日に着工し、本年八月十九日に竣工しました。敷地面積約五二、四四五平方メートル。建築面積約一、一七七平方メートル。延床面積約一、八九九平方メートル。地上二階建鉄筋コンクリート造で一階は家庭科調理室、家庭科服飾室、和室、教員室、大教室(映写室をふくむ)、二階は音楽教室(二室)、書道教室、視聴覚教室、視聴覚準備編集室があります。特に一階の大教室は、一学年全員(二三六〇名)を収容できる多目的教室として設けられております。

◇小学校特別教室棟の竣工

昨年(昭和五十六年)十一月二十五日に着工し、本年八月十九日に竣工しました。敷地面積約一七五、九二五平方メートル。建築面積約一、〇五七平方メートル。延床面積約一、九〇四平方メートル。地上二階建鉄筋コンクリート造で一階は国際特別学級教室のほか美術工作室、高学年美術教室、低学年美術教室、美術教室作業場、二階は家庭科教室、音楽合奏教室(レッスン室とも)、高学年音楽教室(レッスン室とも)、低学年音楽教室(レッスン室とも)があり、小学校本館(クラスルーム棟)との渡り廊下があります。

◇大学施設の開放—大学図書館—

武蔵野市からの申し入れがあり、昭和五十七年四月から、一定の条件のもと

とに武蔵野市民並びに同市在勤者に図書館の利用を認めることとし、三月十七日、大学と武蔵野市との間でその利用のための協定を結びました。

◇成蹊大学アジア太平洋研究センター

昭和五十六年四月に発足した同センターは、アジア太平洋地域に関する各分野の学際的、国際的研究の促進に寄与し、その研究成果を社会に還元することを目的とし、すでに五組の共同研究プロジェクトが活動していますが、本年は、センターの統合プロジェクトを発足すべく、研究会を開いております。また、外国人を含めた学外からの講演者による講演会を、昨年から六回開催し、教職員・学生の多数の聴講者がありました。

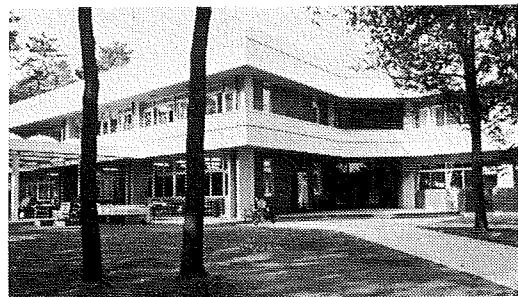
◇高校一年に海外帰国子女の受入開始

昭和五十八年度(五十八年四月入学)より、高等学校一年に海外帰国子女の受入れを始めます。このことにより成蹊一貫教育のもとに帰国子女教育を考えることができるようになり、また成蹊が国際関係を重視する教育を考えていくアプローチの一方と考えられます。入学資格は、原則として海外在住二年以上であること、原則として帰国後一年以内であることが必要であります。なお、現在募集要項を作成中ですが、詳細についてはお問い合わせ下さい。

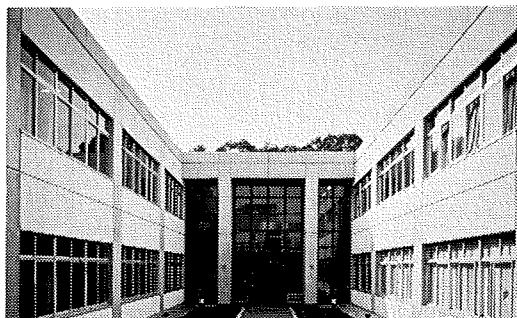
◇小学校の教育課程と実践・検討

私たちは教育の内容を組織したものとしての教育課程を、教科指導・生活指導・行事教育の三つの領域に大別し、各領域独自のねらいと内容がそれぞれ互いに調和し関連を保っていかねばならないと考えています。

昭和五十五年度から実施した教科カリキュラムについては、二年前本誌でその意図する点や特色について掲げておきました。五十六年度からは行事教育についても、また五十七年度からは生活指導についてもこれらを研究課題として取りあげ、三つの領域の実践を通して反省・検討し改善を加えながら、教育課程全体を前進させようという努力をしています。



小学校特別教室棟



中・高特別教室棟

◇昭和五十八年度 学生・生徒・児童募集案内

学校・学部	募集人員	願書受付期間	入学試験日	合格発表日	
大 学	経済学部	300名	1月14日(金)	2月21日(月)	2月27日(日)
	工学部	200名	}	2月19日(土)	2月25日(金)
	文学部	300名		2月20日(日)	2月26日(土)
	法学部	300名	1月31日(月)	2月22日(火)	3月1日(火)
高 等 学 校	約 90名	1月26日(水) 2月1日(火)	2月18日(金)	2月20日(日)	
中 学 校	男約 80名	1月20日(木)	2月1日(火)	2月3日(木)	
	女約 30名	1月25日(火)			
小 学 校	114名	57年 10月12日(火) 10月18日(月)	11月1日(月) 11月2日(火)	11月3日(水)	

※ 高等学校2年，小学校3年編入学および国際特別学級（小・中）の入学については，当該学校事務室にお問い合わせください。

成 蹊 会 報 告

昭和57年10月31日
昭和57年10月31日

一、会 議

○理事会

- 第84回理事会（3月8日）
 (1) 年会費改訂の件
 (2) 昭和57年度事業計画及び収支予算案承認の件
 (3) 成蹊学園評議員選任の件
 第85回理事会（5月17日）
 (1) 昭和56年度事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案承認の件
 (2) 財産目録（昭和57年3月31日現在）承認の件
 (3) 特別会員（教職員）推薦の件
 (4) 第24回謝恩顕彰会開催の件
 (5) 成蹊学園維持会委員（卒業生関係）推薦の件

○特別委員会

- (1) 育英奨学・学術・教育研究委員会（5月6日）
 (2) 育英奨学・学術・教育研究委員会（6月17日）
 (3) 財務委員会（5月10日）
 (4) 広報委員会（5月11日）
 (5) 広報委員会（5月12日）

○同 窓 会

- 工学部幹事会（3月15日）10月25日の間六回
 経済学部委員会（3月18日）
 法学部委員会（7月16日）
 プレメ幹事会（10月6日）
 文学部委員会（10月9日）
 小学校幹事会（10月20日）
 政治経済学部幹事会（10月22日）
 やよい委員会（10月30日）

○支 部 会

千葉支部会（7月10日・千葉市）

中国支部会（10月10日・松江市）

○評議員会

- 第29回評議員会（6月2日）
 (1) 昭和56年度事業報告及び収支決算の件
 (2) 昭和57年度事業計画及び収支予算案承認の件

○会員総会

- 第27回通常会員総会（6月25日）
 (1) 昭和56年度事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案承認の件
 (2) 財産目録（57年3月31日現在）承認の件
 (3) 昭和57年度事業計画及び収支予算案承認の件

二、催 物

- 第5回桜祭り（4月4日・成蹊学園）
 ○第22回日本寮歌祭（10月9日・日比谷公会堂）
 ○第24回謝恩顕彰会（10月1日）
 佐藤茂先生（70才）、柳井吉英先生（70才）
 出席者七六名、卒業生二九名から寄せられた
 祝金を贈呈

三、事 業

- 会員名簿発行（4月1日）
 ○成蹊会誌第55号発行（6月1日）
 ○学術・教育助成金
 小学校教育助成金（6月22日）九十万円
 学術・教育研究助成金（6月29日）七十万円
 ○後援金（十万元以上記載）
 桜祭り 十七万円（4月13日）
 大学体育会 十万円（6月8日）
 標祭（大学）十万円（10月13日）
 蹊祭（高校）十万円（10月13日）

昭和57年12月1日
 編集兼発行人 谷 岡 喜 久 蔵
 発行所 社団法人 成蹊会
 〒180 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1
 電話 0422・51・2244